

第7回 LCV「諏訪圏情報 BOX」

- **放送日** 令和6年9月3日(火)、9月10日(火)
- **テーマ** 「諏訪湖創生ビジョン」について
- **出演者** 諏訪地域振興局 企画振興課 大林輝圭

- 聞き手とのやりとり(概要)

(Q) 諏訪湖畔も爽やかな風が吹き抜ける時期となりました。10月1日は「諏訪湖の日」だそうですが、これはいつ制定されたのですか。

(A) はい、令和元年になります。平成30年に「諏訪湖創生ビジョン」を策定して官民協働で推進している「諏訪湖創生ビジョン推進会議」で制定しました。

(Q) 「諏訪湖の日」を制定したのはなぜですか？

(A) かつての諏訪湖は、水質の急激な悪化によって、緑色のアオコですとかユスリカが大量に発生し、大きな問題となっていた時期がありました。

現在は地域の皆さんの努力や、下水道の整備によって、泳ぐことができるほど水質は改善されてきています。

その一方で、諏訪湖がきれいになるにつれ、湖に対する関心が下がっているのではないかといった声も聞かれています。また、最近では、ヒシなどの水草が大量発生したり、河川からの土砂流入によって諏訪湖が浅くなり水上アクティビティへの支障がでていたといった新しい課題も発生しています。こういった課題を地域一体となって解決することが求められるようになってきたというのが一番の理由です。

(Q) 美しく、また親しめる湖を守り続けるということは、簡単にできることではないですね。

(A) そうですね。そこで、諏訪湖創生ビジョンが掲げる「人と生き物が共存し、誰もが訪れたい諏訪湖」をめざして、より多くの方が諏訪湖に関心を持ち、それぞれができることに取り組んだり親しんだりするきっかけとなるよう、諏訪湖の日を制定しました。

(Q) なるほど、そのような経過があったのですね。なぜ10月1日なのでしょう？

- (A) はい、水質の改善には、下水道の整備が大変重要な役割を果たしてきたのですが、実は約 40 年前の昭和 54 年 10 月 1 日が、諏訪湖流域下水道の一部利用を開始した日なんです。諏訪湖浄化に第 1 歩を踏み出した記念すべき日ということで、10 月 1 日になりました。
- (Q) 「諏訪湖の日」にあわせて、「諏訪湖の日プロジェクト」という企画があるそうですね。
- (A) はい。10 月 1 日だけでなく、概ね 9 月～10 月に行われる、諏訪湖に関連した取組を「諏訪湖の日プロジェクト」として、集中的に情報発信しています。今年も様々な企業・団体の皆様が企画を考えてくださっています。
- (Q) なるほど。どのような企画があるのでしょうか？
- (A) はい、9 月 29 日には、「諏訪湖の日」制定を記念したイベント「諏訪湖の日フォーラム 2024」を開催します。特に今年は諏訪湖の水質と生態系の一体的な調査研究を強力に進めるために諏訪湖環境研究センターが岡谷市に設置されました。センター開所を記念して、テレビ東京の番組「緊急 SOS!池の水全部抜く大作戦」でもご活躍の加藤英明先生をお招きしてご講演いただくなど誰もが楽しめる企画をご用意していますので多くの方のご来場をお待ちしております。この他、今年 4 月に全線開通した諏訪湖サイクリングロードを活用したサイクリングイベントや水上アクティビティが気軽に体験できたり、また水辺にあるカフェでは限定メニューが提供されるなど普段より身近に諏訪湖を感じることができると思います。他にもたくさん企画がございますが詳しくは県諏訪地域振興局の「諏訪湖の日」ホームページに掲載している「諏訪湖の日ガイドブック」をご覧ください。いずれにしても盛りだくさんの企画がございますので是非諏訪湖を訪れていただき、皆さんの思い思いの方法で、諏訪湖に親しんでいただきたいと思います。